

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月4日

協議会名:高松市離島航路確保維持改善協議会

評価対象事業名:離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
雌雄島海運株式会社	男木～高松航路	関係機関との連携した航路維持活性化施策として、新たに航路事業者による公式ホームページの開設、SNS等を通しての情報発信、「島おこし」のイベントの開催など、更なる利用者の増加を目指した。また、航路の維持と利便性の確保につながる施策・事業(高齢者割引の適用及び島発往復割引の拡大)を実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 利用者目標530人/日(193,571人/年)に対して、第3回瀬戸内国際芸術祭の効果もあり、会期終了後も一定の観光客が来島したことで、30年度実績が571人/日(208,515人/年)となり、目標を達成した。	関係機関とも十分に協議しながら、航路の維持と利便性の確保につながる施策・事業に取り組む。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成31年1月4日

協議会名:	高松市離島航路確保維持改善協議会
評価対象事業名:	離島航路運営費等補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	高松市は香川県を中心部に位置し、面積は375.52km <sup>2</sup> 、人口は419,974人(H30.12.1現在)である。 高松港と女木島、男木島を結ぶ離島航路(男木～高松航路)は、他に島を結ぶ航路がない唯一の航路である。両島の住民にとっては、特に通院、通学等において、本土の病院へ通院、学校に通学する関係上、本航路の利用が不可欠となっている。そのような中、瀬戸内国際芸術祭等のイベントや地元、航路事業者及び行政の連携による航路維持活性化施策により、利用者は増加しているものの、両島の住民は年々減少し、海水浴シーズンの乗船客も、減少傾向にあるなど、航路事業者が単独で引き続き航路維持をしていくことは困難な状況にあり、その維持には公的支援が必要な状況にある。